

# 「新しい戦前にさせない」

## 軍拡と「ゾンビ家制度」の罠

# 8.11

## 連続シンポジウム 第5回シンポ

戦争、軍拡は政治・外交問題と思いませんか？ 戦争や軍拡は、戦費のため保育や介護、教育・奨学金、医療、年金などの公的費用を切り縮め、家庭が「自己責任」でその穴を埋めることを求める生活問題です。9条の無償力化は、「公費は戦争にではなく人々の生活のために使う」という戦後の公費の流れの基本も変えたのです。

この間、公費を軍拡に際限なく注ぎ込むことを可能にした「軍拡二法案」も国会で成立しました。結果として削り落とされる公共サービスの穴を無償の家族ケアで埋めるのは一線の女性であり、そんな負担増への疑問を封じるのが「女だからしかたない」という性別分業意識です。夫婦別姓やLGBT法案への統一教会を始めとする反発は、その意味で戦争の下地づくりでもありました。

ただ働き福祉を女性に担わせて戦争国家を支えた戦前の「家制度」は、戦後も「戸主」ならぬ男性世帯主に家族を養わせ、低福祉を女性の無償ケアで埋めさせる政策として生き残り、いま、「家族ケアも仕事も女性活躍で頑張れ」のかけ声の下、ゾンビのように再強化されつつあるのです。男女格差指数125位の<性差別大国>、<生活小国>の元凶でもある「ゾンビ家制度」という軍拡装置に、女性も男性も、若者も声を上げましょう。

**日時** 2023年8月11日（金・祝）13時30分～ 開場13時

**会場** 文京区民センター 2A 会議室 都営地下鉄三田線春日駅 A2 出口すぐ

**主催** 共同テーブル **資料代** 1000円

**出演者**



**総合司会** 白石孝（NPO 法人官製ワーキングプア研究会理事長）

**コーディネーター**  
基調説明 竹信三恵子（ジャーナリスト・和光大学名誉教授）

**パネリスト**

杉原浩司（武器取引反対ネットワーク）

雨宮処凛（作家・社会活動家）

杉浦ひとみ（弁護士）

古今亭菊千代（落語家）

多くの参加者が見込まれます。定員（200名）になり次第、申し込みを締め切りますので、下記のメールアドレスまでお申し込みをお願いいたします。

E-mail : [e43k12y@yahoo.co.jp](mailto:e43k12y@yahoo.co.jp)

ジェンダーギャップ指数125位！  
〈性差別大国・生活小国日本〉